

自己評価結果公表シート

別紙 2

作成 福島めばえ幼稚園

めばえ幼稚園

1. 本園の教育目標

豊かな人格形成を目標におき、生涯にわたる人間性の基礎を養う。愛、自立、健康、創造を4つの柱とし、入園から卒園までの園生活を通して、社会性を養い自主性を育てる。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

評価項目に沿って、自己点検・自己評価することにより、保育者自身の振り返りと自園を客観的に見直す目を養い、保育者の資質の向上、保育の向上を目標に主体的に取り組んでいくことを重点目標とする。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
幼稚園の教育方針に基づき、教育課程を作成している。	教育の中で幼児期の終わりまでに育てたい10の力と合わせ、子どもに育む3つの資質の能力、3つの学び方について理解を深め、主体的、対話的、深い学びにつながる環境や援助を配慮して教育課程や日々の保育計画を立案している。 コロナの影響で、異年齢のかかわりや感情コントロールを課題に保育にあたった。
保育者および保育の質の向上を図るために、園内研修を充実させる。	コロナ感染拡大により、対面での研修会が減少する一方、ZOOMでのオンライン研修が多くなり、大人数での参加が可能になった。幼少研で行われる各年齢の講座では、担当者が全員参加できることで共通理解につながっている。職員同士のシェアが自然発生し、対話につながった。
幼児一人ひとりの教育ニーズを把握し、適切な指導を行う。	発達障がいのある子ども、気になる子どもに対し、教職員間で共通理解を図り、必要に応じて個別の関わりを行っている。子どもがどこに困っているかを見極めて、いろいろな立場の教職員と話し合いを持ちながら探り、適切な対応を心がけている。 必要に応じて、個別の支援計画を立案し実施している。
保護者のニーズの把握につとめ、要望や意見に適切な対応をする。保護者との連携を図り、幼児のよりよい育ちへとつなげる。	日頃から、幼児の様子と年齢なりの発達段階を知らせ、園と家庭と一体となって幼児の成長を促している。要望や意見に関しては、真摯に受け止め、参観日や園だよりを通じて園の考え方を示しながら、丁寧に対応している。個人の相談業務の充実を図っている。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

保育者

一人ひとりが適切に自己点検、自己評価し、自分の保育の課題を見つけることができた。教育方針の理解や具体的な保育内容や援助を考え、実践できるよう努めていきたい。

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
家庭との連携	・令和3年度はコロナウイルス感染症拡大による園行事の取り組みや保護者の方の理解や協力の元、様々な取り組みを無事実施することができた。保護者の認識や対応に慣れてきて、経験を大事にするようになった。今後も感染予防と子どもの安全を念頭におき保育展開していきたい。
幼児教育の意識についての発信	地域の方々との交流の中から園の教育方針や内容を理解していただいたりホームページの更新ページの充実を図ったりして、最新情報を公開していく
子育て支援	愛着関係が上手く築けずに入園してくる子どもが多い中、入園前の親子へのアプローチの必要性を感じる。ピッコロクラブ(未就園児の親子のサークルの充実を図り、園児の親子へも日常での関わり方などを知らせ、今あるべき親子関係の在り方を提案していく。
その他	子どもの成長のために必要な経験を保障しながら、コロナウイルス感染予防の対策に関して、教職員一同一丸となって取り組めるように保育、預かり、子育てそれぞれの部門が連携し、進めていく。

6. 学校関係者の評価

特に指摘すべき事項はなく、妥当であると認められ評価員10名全員の承認を得た。

7. 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。